

豊岡市立弘道小学校 NO.2

## 学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。  
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

令和5年4月18日

### ～特別支援教育は学校教育の中心に～

「支援のいない子は一人もいない」豊岡市の教育は、この考え方をもとにして進められています。障害の程度や有無に関わらず、子ども一人一人の実態を十分に把握して、すべての子どもが進んで参加でき、学ぶことができるよう、授業をはじめとする教育活動の質を上げていこうという考え方です。

通常学級に40人いれば、40通りの支援があります。40人分の強み・弱みを把握し、適切な支援を行うことで、全員が学べる授業づくりを目指しています。

しかし、通常学級では一斉での指示や質問、説明、作業などが中心となり、一人一人の苦手や課題をその時間内で解決することが困難なケースがあります。また、一人一人のわかり方や、見え方、器用さなどを、授業を進めながら改善・克服していくことが困難なケースもあります。

「先生の指示を聴くことや書くこと、音読などが苦手で、それらを克服できればもっと自信を持てるのに。」

「不注意や衝動性、多動性などが改善されたら、もっと集中して間違いも減らせるのに。」

「気持ちの切り替えやコントロールの仕方を身につければ、うまくやっていけるのに。」  
このように、学習に向かう段階で、苦手な部分や少し不器用さがあるなどのケースでは、「通級指導教室」で、専門の教員から個別の指導を受けることで、通常学級での学びにくさを改善していきます。

### ～はばたき教室（通級指導教室）～の実際

本校でも、専門の教員が「はばたき教室」で子どもに個別の指導をしています。

はばたき教室で学んでいる子ども達の様子（担当者の声）

「漢字が読めるようになった。」「前跳びが50回も跳べるようになった。」等、苦手なことができるようになる喜びを笑顔で話してくれます。その子に合った指導方法で、繰り返しトレーニングし、できる喜びを感じられるよう支援しています。

保護者の皆様からの声

「自信が持てるようになったみたいです。」「子どもは、はばたきの時間を楽しみにしています。」などの声をお寄せいただいています。

クラスの仲間たちも、はばたき教室で頑張っていることを理解しており、温かく送り出したり迎えたり、励ましたりしています。

「特別支援教育は、学校の中心にある。」弘道小学校は、一人一人の違いを大切に、互いの頑張りを認め合い、他者を理解し合う学校づくりを目指しています。特別支援教育およびはばたき教室への一層のご理解をお願いします。

★はばたき教室（通級指導教室）へのお問い合わせは、坂岡教諭までお願いします。

人権文化創造支援事業「なかよし学級」へぜひご参加ください

毎週金曜日の放課後に、部落差別をはじめとする偏見や差別の解消を目指し、様々な体験学習や交流会、テーマを基にした学習会を行っています。最近では、ネットでの誹謗中傷やLGBTQなどへの偏見・差別が大きな社会問題となっており、正しく学び続けないと、大人でさえ加害者にも被害者にもなってしまう可能性があります。

なかよし学級では、体験を通して相互理解を図ったり、教員や地域の方を講師に新たな人権課題も学習したりして、人権意識の向上に取り組んでいます。

参加児童の感想では、以下のような育ちがありました。

「男女の差別は私たちの生活の中に多くある。『どうして?』と大人に聞いても『昔から決まっているから』としか答えてくれない。それで片付けてしまうからなくなれないと思う。(4年生)」

「部落差別は日本固有の差別なので、私たちがなくしていかなければならないと思う。もっと勉強して仲間と協力して、なくしていくように努力をしたい。(6年)」

毎週金曜日の放課後に実施しています。先日豊岡市からの封筒でご案内したところです。いつでも募集していますので、ぜひお子様とご相談していただき、1人でも多くご参加いただきますようお願いいたします。

お問い合わせがある場合は下記までお願いします。

【★なかよし学級担当者 弘道小 52-2105 担当：小川教諭】

◆学校生活を紹介します◆



分区児童会



1年小グランド案内



1年生給食開始



モリモリ食べました

★下校時刻が昨年より少し早まっています。見守りボランティアの皆様には大変ご迷惑をおかけしています。引き続き子どもの見守りをどうぞよろしくお願い致します。